

特定非営利活動法人産学連携学会 関西・中四国支部設立準備の経緯

産学連携学会関西・中四国支部の設立に向け進めてきた経緯の概略を下記に示す。

平成21年3月頃に中国，四国地方で支部を作らないかとの意見が出された。

藤原准教授（岡山大学），北村教授（島根大学）が意見交換し，中国，四国の交通の拠点である岡山を起点にして2時間30分（岡山＝松江間のおよその所要時間）のエリアとすると関西まで含まれることから，支部のエリアを関西，中国，四国地域にすることで合意した。

平成21年4，5月に，関西地方の澤田教授（京都大学），河崎准教授（和歌山大学），四国地方の石塚准教授（高知大学），李講師（香川大学）に意見を求め，関西，中国，四国地方を一つのエリアとして支部を立ち上げるのがよいとの賛同が得られた。

また，支部の目的としては，産学連携活動に関して，地域が共有する課題を解決し産学連携の促進に向けて，産学連携の事例や研究成果について情報交換を行い，かつ，地域内の会員の交流を深めることを目的とすることが良いという合意が得られた。

藤原准教授（岡山大学），北村教授（島根大学），澤田教授（京都大学），河崎准教授（和歌山大学），石塚准教授（高知大学），李講師（香川大学）の6名が発起人となり，産学連携学会本部に対し，5月29日付で支部設置の申請（様式1）を提出し，6月8日付けで承認が得られた。

その後，6月12日に岡山大学にて第1回の設立準備委員会を実施し，支部体制案や宣伝方法，支部での活動について議論した。発起人のメーリングリストで議論を続けるとともに，支部参加者の募集や支部ホームページの立ち上げなど正式な設立に向け準備を進めてきた。

その結果，関西・中四国支部を正式に設立するための支部設立準備総会を12月4日に行うこととなった。また，同日に支部の第1号の活動として第1回研究・事例発表会を実施する運びとなった。

以上